

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム きもりの家

作成日: 平成 29 年 11 月 15 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	「外部からの参加委員が少ないため、地域の方を始め、参加委員を広く募り、ホームのことだけでなく、地域の課題についても話し合えるような会議を目指す必要がある。」と次のステップに向けての期待したい内容に挙げられたこともあり、検討を要する。	現在、入居されている家族はもとより、町内会長や民生委員の方々にも参加を依頼し、地域の課題についても話し合い、地域との交流を深めていくとともにサービスの向上に努める。	家族会において時間が取れる家族には気軽に参加し意見を述べていただけるように、家族会において声かけを行う。また、福祉課や社会福祉協議会等を通じて、町内会や民生委員への参加を呼びかけ参加していただく。	12ヶ月
2	38	新人スタッフも増えて、介護経験も初めてのスタッフもいるため、一人ひとりの知識や技術及び経験に差がみられることから、入居者の尊厳やプライバシーへの配慮にも一貫性が崩れないようにチームケアに取り組む必要がある。	チームケアにより、入居者一人ひとりを尊重しプライバシーを損ねないように、チームスタッフ全員が入居者に対して「指示」ではなく「支持」の気持ちを忘れず対応できるようになる。	認知症の方への理解とケアについての知識を習得、実践してもらうために、研修会への参加やホーム内での勉強会を行い、常に相手の立場に立った尊厳やプライバシーに配慮したチームケアに取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。